

群星
【むりぶし】

Muribushi

特集① 総務部

沖縄総合事務局

観光振興推進本部の取組

特集② 総務部

アジア青年の家

9月★10月号
2008年

隔月発行

September

★
October



〈表紙写真〉

【トビイカの天日干し】
お う じ ま
(奥武島)

奥武島は、沖縄本島南部の南城市玉城と橋でつながる面積0.23km²、人口843人、世帯数288世帯（H20.7住基台帳）の小さな漁村の島です。南部のドライブスポットとしても人気があり、島を一周する道路沿いに立ち並ぶ食堂や売店では、とれたての海産物が味わえます。

奥武島の夏の風物詩といえばイカの天日干し。7～9月の晴れた日には漁港にトビイカが白いカーテンのように棚引く光景を見ることができます。また、旧暦7～9月の1日にはスクガラス漁が行われ、運がよければ水揚げされたスクガラスに出会うことができます。

島の伝統行事として旧暦5月4日に行われるハーリーでは、奥武島独特の「流れ船」や「クンケーラシー」を見ようと毎年多くの見学者が訪れ賑わいをみせます。

Muribushi

群星
【むりぶし】

C O N T E N T S

01

大臣挨拶

内閣府特命担当大臣
林 幹雄

02

大臣、副大臣及び
大臣政務官のプロフィール

内閣府特命担当大臣 林 幹雄
内閣府副大臣 宮澤 洋一
内閣府大臣政務官 松浪 健太

03

地域が目「私と沖縄」

特定非営利活動法人アクアプラネット会長
タレント 田中 律子

特集

04

総務部 沖縄総合事務局
観光振興推進本部の取組

08

総務部 アジア青年の家

仕事の窓

10

仕事の窓① 経済産業部
地域力連携拠点事業がスタート「まずは相談してください!」

12

仕事の窓② 経済産業部
癒しの島で極上のリラクゼーションを

14

仕事の窓③ 運輸部
プレジャーボート等小型船舶に対する安全キャンペーンを実施

局の動き

15

農林水産部 仲西中学校の職場体験学習生を受け入れました
農林水産部 「第1回沖縄県マンゴーコンテスト」が開催される
開発建設部 平成19年度開発建設部所管 優良業者等表彰式を開催
開発建設部 平成20年度沖縄不発弾等対策協議会を開催
運輸部 平成20年『海の月間』について
運輸部 平成20年度 陸運関係功労者 陸運事務所長表彰を開催

18

なかゆくい *シリーズ③ ～昔も今もあなたの身近にある『疏水(そすい)』～

20

内閣府だより G8科学技術大臣会合を開催

21

お知らせ

沖縄の
伝統的工芸品 #9

久米島紬 くめじま つむぎ



産地組合:
久米島紬事業協同組合
(昭和50年2月17日伝産指定)
伝統的工芸品とは
伝統的技術又は技法によって製造された工芸品で経済産業大臣が指定したものをいいます。沖縄には13品目が指定されています。

URL:
<http://ogb.go.jp/move/densan/okinawaindex.htm>



紬とは、「紡織り」の略で、蚕の繭から糸を取り出し、よりをかけて丈夫な糸に仕上げて織った絹織物のことです。久米島は「紬」発祥の地とされており、その技術・技法が沖縄本島、奄美大島等を経て日本本土に伝えられ、「大島紬」や「結城紬」等として全国に伝播したといわれています。

久米島では15世紀頃には養蚕が行われるようになり、17世紀に琉球王府への貢納布として定められて以降、紬の生産が盛んになり、当時の江戸では琉球を代表する織物として大変珍重されていました。

現在でも、琉球王府時代以来の伝統を保ち、蚕から取った絹真綿を紡いだ糸を原料に、島内の山野に自生するフクギ、テカチ、ヤマモモ等の植物染料や泥といった天然素材のみによって染色し、手織りにより製織しています。また、意匠、糸括り、染め、織り等の全工程を1人の織子により丹念に行っています。

さらに、芸術的価値が高く、工芸史上重要な地位を占めていること等から平成16年には「国の重要無形文化財」として指定されました。



★本誌タイトルについて★

群星(むりぶし)とは、沖縄の方言で「昂星(すばる)」のことで「ぶりぶし」、「むるぶし」とも呼ばれています。



内閣府特命担当大臣

林 幹雄
はやし もと お

このたび、沖縄を担当する内閣府特命担当大臣に就任いたしました。沖縄の魅力を国内外に発信して振興策を進めることを基本に、県民の皆様が負っている大きな基地負担を軽減すべく、尽力してまいります。

大臣就任以来、一日も早く沖縄県を訪れたいとの希望を持っており、就任早々の8月10日から11日にかけて、地元の方々の意見交換や視察のため、沖縄を訪問いたしました。

今回の訪問では、仲井眞知事を始め各界の多くの関係者とお会いし、就任の御挨拶とともに、沖縄をめぐる諸問題について忌憚のない意見交換を行うことができました。また、国立沖縄戦没者墓苑の参拝等を通じて、県民の皆様につらく、悲しい経験に思いを致し、二度と悲惨な戦争を起こしてはならないとの決意を新たにしました。これまでの運輸政務次官、国土交通副大臣等の経験を活かし、「一意専心」をモットーとして、沖縄振興のために与えられた職務に全力投球いたします。

普天間飛行場の視察では、市街地に隣接して広がっている姿を実際に見て、一日も早い移設・返還の必要性を実感しました。地元の意向をよく伺い、沖縄を担当する大臣として、沖縄との橋渡し役を務めていきたいと考

Greeting

就任のご挨拶

えております。

また、沖縄科学技術大学院大学の建設予定地を視察しました。大学院大学の建設予定地は、沖縄らしい自然環境に恵まれた土地で、世界最高水準の研究教育を行う環境としてふさわしく、また、研究棟などの建設が着実に進んでいると実感しました。

今後、沖縄県、周辺市町村を始め関係者の皆様の御協力を得ながら、大学院大学構想を着実に前進させていきたいと思えます。

さらに、糸満市では、今年から始まった「アジア青年の家」の活動を行っている若い皆さんにお会いし、「頑張ってください」の意味を込めて「Can do!!」と激励してまいりました。アジアと日本の参加者が国境を越えて三週間にわたって共に生活し、切磋琢磨することの素晴らしさを感じ取ることができ、こうし

た若者が、次の時代を切り拓き、アジアの架け橋となってくれることを期待しています。

今回の訪問を通じて、県民の皆様のおいや地域の実情に直接触れることができ、まさに「百聞不如一見」（ひやくぶんはいっけんにしかず）ということを実感しました。今回の経験も活かし、今後の沖縄振興に全力で取り組んでまいります。



プロフィール

Profile

内閣府特命担当大臣に
林 幹雄 氏が就任



平成20年8月2日付けで、
沖縄及び北方対策を担当する
内閣府特命担当大臣に、林幹
雄氏が就任しました。

■プロフィール

平成5年衆議院議員選挙で
初当選。平成6年衆議院交通安
全対策特別委員会理事、平成8
年衆議院運輸委員会理事、平成
10年運輸政務次官、平成14年衆
議院総務委員会理事、衆議院政
治倫理の確立及び公職選挙法
改正に関する特別委員会理事、
平成15年国土交通副大臣、平成
17年衆議院国土交通常任委員
長を歴任。平成20年福田改造内
閣において、内閣府特命担当大
臣（沖縄及び北方対策）に就任。
千葉10区選出

内閣府副大臣に
宮澤 洋一 氏が就任



平成20年8月5日付けで、
沖縄及び北方対策を担当する
内閣府副大臣に、宮澤洋一氏
が就任しました。

■プロフィール

平成12年衆議院議員選挙で
初当選。同年衆議院青少年特
別委員会、外務委員会、厚生
労働委員会、文部科学委員会
等の各委員、平成15年衆議院
厚生労働委員会理事、平成17
年衆議院議院運営委員会理事、
厚生労働委員会理事を歴任。
平成20年福田改造内閣におい
て、内閣府副大臣に就任。
広島7区選出

内閣府大臣政務官に
松浪 健太 氏が就任



平成20年8月6日付けで、
沖縄及び北方対策を担当する
内閣府大臣政務官に、松浪健
太氏が就任しました。

■プロフィール

平成14年衆議院議員補欠選
挙で初当選。衆議院厚生労働
委員会委員、環境委員会理事、
法務委員会理事等を歴任。平
成19年安倍内閣で厚生労働政
務官に就任、福田内閣で再任。
平成20年福田改造内閣におい
て、内閣府大臣政務官に就任。
大阪10区選出



特定非営利活動法人
アクアプラネット会長

タレント 田中 律子

私が初めて沖縄へ来たのは、14歳の時でした。

その当時モデルをしていて、南西航空（今のJTA）の機内誌の撮影で西表島に連れて行ってもらったのが私と沖縄の最初の出会いです（23年前です！今、この原稿をなんと偶然というか必然というか、西表島で書いています！）。中学2年生だった私にとって、青い海、青い空、ジャングルのような濃い緑、見るものすべてが新鮮でキレイでした。その撮影の合間に生まれて初めて体験ダイビングをさせてもらった時は、あまりの海の中の美しさに、ただただ感激と感動でした。

この地球には、もう一つこんな世界があったんだ！！
日本には、沖縄というこんな素

晴らしいところがあるんだ！！

海の中はまるで竜宮城のようで、ピンクやブルーのサンゴ礁に囲まれ、これまたカラフルでかわいいうる熱帯魚達が泳いでいる。ふだん生活している陸上とはまったく違い、あの無重力でフワフワ浮いている感覚は、とっても気持ち良くて、すべてのストレスが自分の呼吸と一緒ににはき出され、それと同時に海からパワーをもらって、ものすごくポジティブになれる。もうそれ以来、私は沖縄とダイビングの虜になってしまいました。

10年ほど前、そんな大好きな沖縄の座間味島でダイビングをしていたら、いつもはピンクやブルーのサンゴ礁がその日は逆一面、真っ白だったんです。

「今日のサンゴ、なんかキレイ!!」と思ってしまうくらい、びっくりするほど真っ白で、それから聞いた「白化現象」というサンゴが死んでしまう直前だったんです。それを聞いて本当にショックでした。

それからしばらくして、又同じポイントにダイビングに連れて行ってもらったら、その白化したサンゴはボロボロに折れ、藻がついて、まわりには魚一匹もないし、グレイの世界で、まるで墓場のような海でした。あんなにキレイだ

Series

13

地域の目

「私と沖縄」

った海が、こんなに荒れた海になっちゃうなんて…。これはなんとかしなくちゃ、なんとかしたいけど、でもどうしたらいいんだろう…。

そんな時、私の目の前に現れたのが、コーラル親父こと金城浩二さんでした。金城さんは北谷でサンゴの再生、養殖、移植活動を行っていて、私がテレビ番組のリポーターで金城さんの元を訪れたのが、出会いのきっかけでした。

初めてサンゴの移植をやらせてもらった時、「こんなことが出来るんだ!!」と目からウロコで、「これだ!!」と思ったんです。

私が14歳からダイビングを続けてきたのも、こんなに沖縄が好きなのも、きつとこれをするためだったんだ、サンゴの再生、移植は私がやらなきゃならない使命なんだ!!

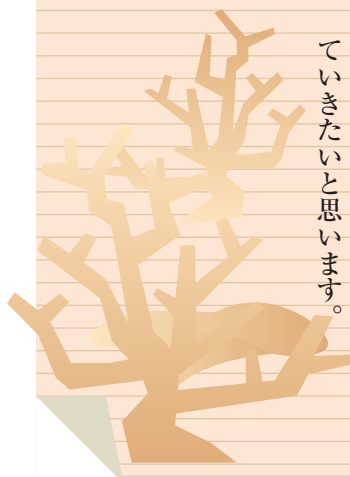
そんな気持ちから、3年前に「アクアプラネット」を立ち上げ、2年前、私は会長、金城さんは理事長として、サンゴ再生、移植活動をNPO法人として始動することになりました。「アクアプラネット」では、水槽でサンゴを株分けして、サンゴの赤ちゃんを今現在約4万株ほど育てています。3、4ヶ月ほど水槽で育ててから、北谷沖のポイントの岩盤に水中ドリ

ルで穴をあけ、1本1本手で移植します。最初親指くらいの大きさのサンゴが半年でにぎりこぶしほどの大きさに、1年で手のひらを広げたくらいに成長します。3年前に私が移植したサンゴは、なんと今年産卵もしました!!

地道な作業ではあるけど、移植したサンゴがどんどん成長してるし、サンゴが増えるたびに魚も増えてきているのを見て、喜びと手応えと、続けてきて良かった!と毎回潜るたびに感じます。

今では毎月沖縄へ来て、「アクアプラネット」の活動を行っています（会長でもあり、広報でもあります）。これを読んでくださっている方も、ぜひ「アクアプラネット」の会員になっていただくとうれしいです!!

今までたくさん遊ばせてもらって、パワーを与えてくれた沖縄の海に感謝と恩返しです。100年後の子供達にこの海を残したい!! そのモットーで、これからもサンゴ再生、保護活動を楽しんで続けていきたいと思います。



観光振興推進本部の取組

1

1 観光振興推進本部について

沖縄総合事務局観光振興推進本部は、沖縄総合事務局が一体となって沖縄観光の振興に関する事業等の円滑な推進に取り組むことを目的に、沖縄総合事務局長を本部長として、平成17年度に設置されました。観光振興推進本部では沖縄観光の課題等について議論するとともに、関係各部における連携テーマでの取組等を実施しています。

2 観光の振興に関する課題と今後の推進について

平成19年度に行った「持続可能な沖縄観光の推進方策検討調査（沖縄における観光施策等の現状と課題について）」の結果及び沖縄振興計画後期展望や第3次沖縄県観光振興計画等から、観光の振興に関する課題について整理し、その課題に対して、観光振興推進本部において以下のとおり

今後の推進方針を決定しました。今後、沖縄総合事務局では、当該方針に基づき、観光振興の施策を実施していきます。

(1) 人材育成

市町村が主体的に旅行商品の開発に取り組む際に、沖縄観光まちづくりアドバイザー会議の構成委員である県内大手エージェンツと市町村との情報交換の機会を提供していきます。

また、県内の各市町村レベルで観光まちづくり人材を育成する取組が行われているのですが、他地域における人材育成の取組内容に関する情報が共有されていないため、効果的に行われていない現状にあります。そこで、人材育成に関する共通課題や先進事例に関する情報を共有化し、沖縄県下における人材育成に活用していきます。

(2) 特色のある観光施策の立案

観光施策の立案にあたり、

従来型の施策ではなく、各市町村の特色を活かした施策を実施していく必要があります。観光を核とした地域振興を推進し進める市町村に対し、主に地域が企画・提案する旅行商品の企画について引き続きアドバイスを行います。

また、新たに企画した旅行商品の検証と流通の促進を図るため、「ニューツーリズム創出・流通促進事業」で採択されたモニターツアーを引き続き支援していきます。

さらに、持続可能な地方再生の取組を促進するため、地域主体の様々な取組を立ち上げり段階から包括的・総合的に支援する「地方の元気再生事業」についても、観光関連のソフト事業を中心に協力・支援を行っていきます。

(3) 市町村の広域連携

「観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律」が本年5月に成立し、さらに、今回の調査においても沖縄県下における連

携の必要性が指摘されています。このため、複数市町村の連携による地域観光圏の形成を推進し、圏内における広域ネットワークの促進を支援していきます。

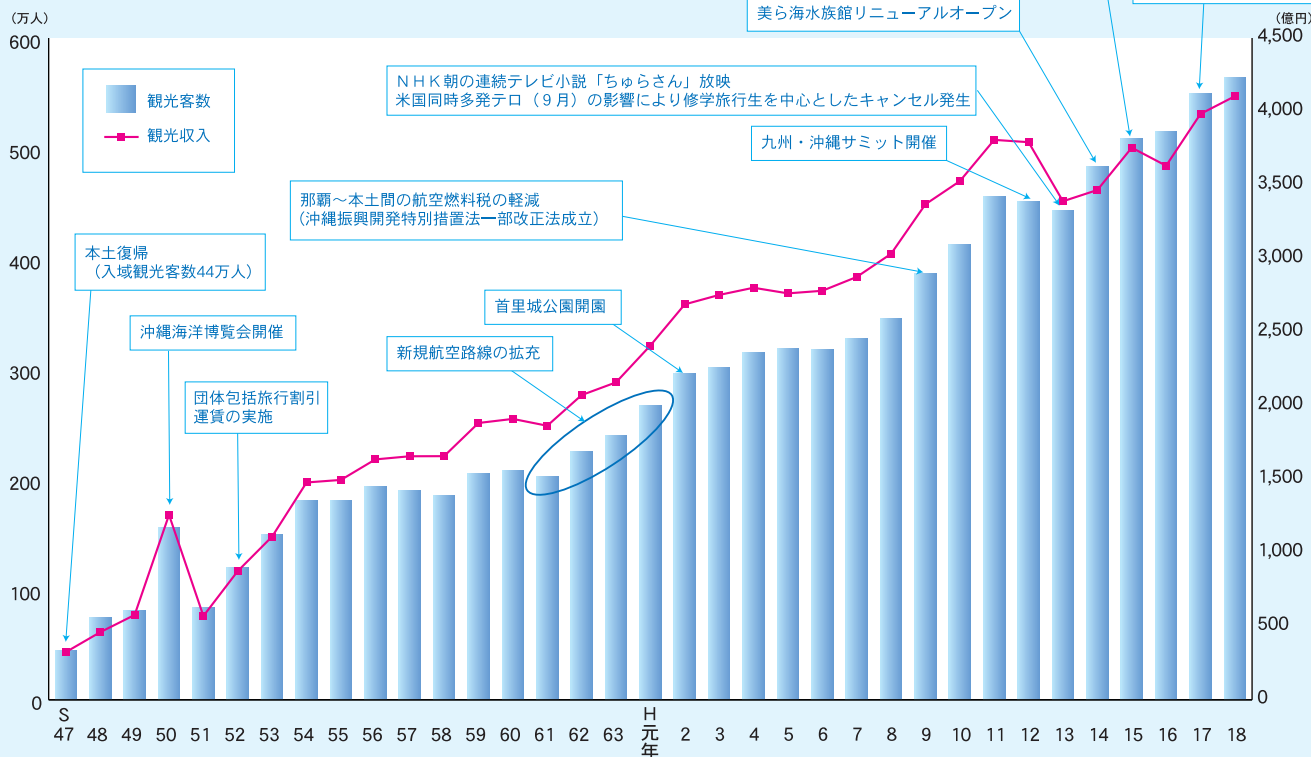
また、国際競争力のある観光地の整備促進を図るため、地域主体（都道府県、市町村、観光事業者、NPO等で構成する法定協議会を設置）の観光圏整備に向けた取組に対し、国による総合的な支援措置（国土交通大臣認定による特例措置、観光圏整備事業費補助金、税制優遇措置、財政投融资等）を実施していきます。

(4) 国際観光への対応

国際競争力のある観光地の形成に向けた商品開発について積極的にアドバイスをを行うとともに、観光を核とした地域振興を推し進める市町村に対し、多言語（4カ国語）表記によるパンフレットの作成等やピクトグラムを取り込んだ道路案内標識の推進を引き続き支援していきます。

沖縄総合事務局観

観光客数及び観光収入の推移



資料：沖縄県観光商工部観光企画課「観光要覧」、沖縄観光速報社「観光と経済」等により沖縄総合事務局で作成

沖縄の文化や歴史、自然を活かした、観光拠点となる都市公園の整備を引き続き推進します。

街なみ環境整備事業及び地域住宅交付金を活用して、小公園・緑地の整備、生活環境施設の整備、電線の地中化、道路の美装化、住宅等の修景整備など良好な居

(5) 沖縄らしい風景づくりと公共インフラの整備

また、海外からの誘客促進を図るため、VJC（ビジット・ジャパン・キャンペーン）の地方連携事業による外国人誘客推進事業（台湾、中国、香港、韓国、欧米）を推進しており、引き続き支援していきます。

その一環として、クルーズ船の来航促進に関して、VJCの地方連携事業において、クルーズ船誘致促進事業（クルーズ観光商品の企画支援、クルーズ観光情報の発信、クルーズ宣伝ツールの開発等）を推進しており、引き続き支援していきます。



座喜味城跡

住環境の整備を引き続き支援し、観光客へ美しい景観や沖縄らしい街並みを提供します。

観光客数は年々増加しており、平成23年度720万人の誘客目標値が設定されていることや、県が新たな観光計画として策定したビジッとおきなわ計画で目標としている観光客1,000万人を支えるための基本となる社会インフラ整備として、ダム等の安定的な水資源開発を着実に進めます。

(6) アクセス向上のための
インフラ整備

公共交通網の充実及び利用促進に関して、「公共交通活性化総合プログラム事業」を引き続き推進していくとともに、今年度から新たに「地域公共交通活性化・再生総合事業」による地域公共交通の活性化・再生のための地域の取組を支援していきます。

那覇空港自動車道・沖縄西海岸道路を始めとする道路整備を促進するとともに、那覇都市圏交通円滑化総合計画に基づく各種個別施策の推進及びTDM（交通需要マネージメント）施策推進アクションプログラムに基づく各種個別施策を検討促進し、観光客の移動時間の短縮を図ることで、より快適な観光を提供します。

「那覇空港の総合的な調査」での結果を踏まえ、PI（パブリック・インボルブメント）等を活用し、滑走路増設等の将来対応

方策を絞り込み、具体的な施設配置を設定する「構想・施設計画段階」の検討を実施していきます。

港湾整備事業において、現在の貨客混在の状態を解消するため、那覇港では平成21年春供用開始に向けクルーズ船に対応したターミナル整備を進めます。また、同事業において観光客を含めた利用者移動の円滑化のため、本部港や離島港湾における浮桟橋や旅客待合所の整備も併せて進めます。



美ら海水族館

(7) 持続可能な観光地づくりの
推進

地域主体の観光まちづくりを支援するため、地域特産品の開発・ブランド化等を含めたソフト事業全般について引き続き支援を行います。

また、地域環境の保全・再生と調和した地域密着型のツーリズム・旅行商品の流通を促進するため、ツーリズム創出・流通促進事業を引き続き推進していきます。

① 環境の保全と再生

ダム事業実施河川において、河川環境に与える影響の軽減を図るとともに、地元自治体と連携して環境学習やレクリエーションの場として多面的に活用できるような取組を進めます。

漁港区域内における景観の保持、美化を図り、快適にして潤いのある漁港環境を形成するため、親水施設、植栽、休憩所等の整備及び漁業集落の生活環境の改善

のための集落排水処理施設等の総合整備を引き続き行います。

松くい虫の発生している松林において、松林の健全な育成、保全を図るため、被害木を含む不用木等の伐倒除去・処理を引き続き行い、観光リゾート地としての風致景観を保全します。

農地からの赤土等流出を防止し、下流河川及び海域等、農村地域の環境保全を図るため、発生源対策として、ほ場勾配の修正・グリーンベルト・法面保護工等、流出防止対策として、畦畔・土砂溜枿・排水路・沈砂地等、地域特性に応じた整備を引き続き行い、観光客へ美しい景観や沖縄らしい街並みを提供します。

② 健康保養型観光の推進、

観光土産品のブランド確立、
地産地消の推進

地域の食材、人材、技術、その他の資源を効率的に結び付けることによる食料産

1 沖縄総合事務局 観光振興推進本部の取組

業クラスターの形成（食品産業・農業・関連業種によるネットワークづくり）を促進し、地域の農水産物を活用した高付加価値食品の供給及び産地ブランドの確立を図ります。

各地域の強みである「地域資源」（産地の技術、地域の農林水産品、観光資源）を活用した中小企業の新商品・新サービスの開発・市場化を総合的に支援します。

また、農商工連携促進法に基づき、中小企業者と農林漁業者が連携して行う新商品等の開発・販売促進等の取組を総合的に支援します。

食品の不適正表示を防止するための監督指導や普及啓発を図り、県産食品の表示の適正化を推進します。

ニューツーリズムを推進する一環として、地域の特色のある産業等を観光・集客資源として活用した地域ぐるみの取組を支援するため、地産地消型の新たな観光・集客サービスの創出を推進していきます。

③ 体験滞在・交流の推進、 エコツーリズムの推進、 グリーンツーリズムの推進、 文化交流型観光の推進

都市と農山漁村それぞれに住む人々が、お互いの地域の魅力を分かち合い「人、もの、情報」の行き来を活発にする都市と農山漁村の共生・対流の取組を促進するため、滞在型の交流施設整備等を引き続き支援するとともに、関係省庁が連携して行う子どもたちの成長を支える教育活動である、小学校での農山漁村での自然体験・集団宿泊体験活動を推進するため、受入モデル地域の体制整備を引き続き支援します。

ダムが存在する地元自治体においては、ダムと地域の豊かな自然・文化などを有効利用し、エコツーリズムな

どの地域の活性化の核となるような行動計画として「水源地域ビジョン」が策定されています。現在、事業実施中のダムについても、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化のためにダム管理者、自治体、住民等と協同で同ビジョンを策定していきます。

(8) MICE誘致の推進

「国際会議等各種会議の沖縄開催の推進について」の閣議了解に基づき、国、県、関係機関の連携を強化し国際会議等の誘致を引き続き推進していきます。

VJCの地方連携事業によるMICE誘致強化事業（海外インセンティブ市場の開拓、コンベンションアイランド沖縄の認知度向上、MICE開催のキーパーソン招聘等）を引き続き推進していきます。

(9) 国、県、市町村が主体とな って行う施策への取組

内閣府が主体となつて行う「高度観光人材育成事業」や、県、市町村が主体となつて行う「国際観光地プロモーションモデル事業」、「持続可能な観光地づくり支援事業」、「沖縄における環境保全型観光促進事業」、「風景づくり推進事業」等、様々な施策においても、各事業主体と連携を図りながら施策の推進へ取り組んでいきます。



ブセナリゾート

アジア青年の家2

1 はじめに

日本やアジア諸国の若者が沖縄に一同に会し共同生活する中、優れた科学者や技術を目の当たりにする等の共通体験等を経ることにより、将来イノベーションを起こす人材を育成することを目的とした「アジア青年の家」(主催：内閣府)の活動が8月6日から27日の約3週間の日程で行われました。

二〇〇八年度のプログラムは「環境」をテーマに設定されました。環境問題に関する現状を知り、各分野での意欲的な取組に触れ、同時に、科学技術の素晴らしさや科学技術を社会に効果的に応用させる方法を学び、将来、自らの力で世界の人々の役に立つことを行おうとするチャレンジ精神を育くむことがねらいです。

参加者は、国内外の教育機関からの推薦や公募で決定した15歳から17歳の中高校生で、沖縄県15名、沖縄県以外の日本30名、アジア各国(ASEAN各国(インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ブルネイ、ベトナム、ラオス、カンボジア)及び中国、韓国、インド、オーストラリア、ニュージーランド)30名の総勢75名のほりしました。

2 プログラムについて

プログラムは、約3週間の日程を4つのステージに分け、県内各地の施設や自然を舞台に実施されました。日々の実施プログラムは、様々な体験を通して主体的に活発な議論が出来るようにするために、

- ① フィールドワークに重点を置く
- ② 参加者が主体的に取り組む
- ③ 沖縄を体験する
- ④ 成果を発信する



記念撮影(開会式)

3 主な活動

といった観点から策定され、多岐に渡るプログラムが盛り込まれました。

なお、「アジア青年の家」は、異なる言語で生活する若者同士の交流であるため、プログラムは英語を基本言語として実施されました。

① 開会式(8月6日)

宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開かれた開会式では、各国からの参加者が紹介され、27日までの3週間の日程が幕を開けました。

主催者挨拶として、「国境を越え「環境」というテーマのもとで大いに語らい、刺激しあってもいい。また、沖縄の魅力を十分に味わってほしい。」との林幹雄沖縄担当大臣の期待を込めたメッセージが沖縄総合事務局長より読み上げられました。

引き続き、参加青年代表による宣言が行われ、「将来は地球環境問題の解決に貢献できる人になりたい。沖縄県代表として沖縄の素晴らしい伝統文化や食文化も伝えていきたい。」と沖縄尚学高校の上江田開君が英語で力強く抱負を述べました。

最後にアルピニストの野口健氏が「地球温暖化によるヒマラヤ地域の現状」と題して基調講演を行い、「環境問題に国境はない。このようなすばらしい会議に出席した皆さんが、自国に帰って地球温暖化防止のメッセージになってほしい。」と訴えました。参加者は、開会式を通じ、本プログラムに参加する心構えや期間中の積極的な交流を確認しました。



野口健氏による基調講演(開会式)

② 第1ステージ(概況を学ぶ)(8/6〜8/10)

沖縄の概況と環境問題の基礎についての学習や参加者間での交流促進を目的に、枝廣淳子氏や江守正多氏による環境問題に関する講義や環境番組の視聴のほか、県内視察(首里城、平和祈念公園等)等が行われました。

※内閣府では、「アジア青年の家」のスケジュールや講師陣からのメッセージ、参加者による日々の活動日誌などを紹介したホームページを公開しています。
アドレスは <http://ayepo.go.jp/>



シュノーケリングツアー（渡嘉敷）

③第2ステージ（自然環境を体験する）（8／11～8／15）
参加者一行は渡嘉敷島に渡り、シュノーケリングなどの体験プログラムを通じ、島の大自然に触れるとともに関連講義を受けることにより環境に関する問題意識の確立、また、広大な施設を利用したスポーツやキャンプファイヤーなどにより交流を深めました。



県内視察（首里城）

伊江島での生活体験や農業・漁業等の体験を通じて、多様な文化、慣習を肌で感じとりました。また、バイオエタノールプラントも見学しました。

⑤ホームステイ（8／21～8／23）



毛利衛氏との意見交換（名桜大学）

④第3ステージ（環境と科学技術）（8／16～8／21）
第2ステージで得た問題意識を踏まえ、日本科学未来館館長・宇宙飛行士の毛利衛氏の講義、ローテーションプログラム（沖縄高専・海洋研究開発機構・沖縄科学技術研究基盤整備機構）や企業（トヨタ自動車、新日本石油、富士ゼロックス、SHARP、帝人）の取組紹介を通じて環境と科学技術の関係について学習しました。また、沖縄の伝統文化、芸能にも親しみました。



グループディスカッション

⑥第4ステージ（成果構築）（8／24～8／27）
宮古総合実業高校による環境に関する取組紹介、科学者の語る夢・未来をテーマにした「一流科学者による「科学者シンポジウム」、環境税やサマタイムを題材とした昭和薬科大附属高校・中学校とのディスカッションのほか、これまで学習したことを踏まえ、グループのディスカッションを中心に、環境問題の現状認識や自分たちで今後行うことなど沖縄発のメッセージをまとめました。



文化発表

この「アジア青年の家」は、まさにその一つの契機であって、この活動が着実に成果を積み重ねていくことでイノベティブマインドあふれる社会のすばらしさが全国的に共有されることに期待します。

「アジア青年の家構想推進に係る有識者会議」の提言にもあるように、我が国が、国際社会の一員として活躍し、役割を果たそうとする中においては、イノベーションの推進が重要であり、そのためには次世代を担う若者にイノベティブマインドを如何に育むかがカギとなります。

3週間の日程で行われた「アジア青年の家」は、こうして幕を閉じました。

4 おわりに

⑦閉会式（8月27日）
名護市の万国津梁館において執り行われた閉会式において、参加者による成果発表が行われました。引き続き、今回のプログラムを全日程を終えた参加者に対する熱いメッセージが、「アジア青年の家構想推進に係る有識者会議」の有馬朗人氏から送られました。

経済産業部

つながり力で応援

地域力連携拠点事業がスタート

「まずは相談してください！」

ご相談は
無料です

Point

経済産業省では今年度から新たに、日本の強みである「つながり力」を更に強化し、経営力の向上や事業承継等、中小企業が直面する課題に対してきめ細かな支援を行う「地域力連携拠点事業」を実施します。この実施機関として、全国で316機関、沖縄では金融機関2行を含む9機関を選定しました。平成20年5月30日（金）から全国一斉に事業をスタートしています。

地域力連携拠点事業とは？

地域の優秀な支援者をコーディネーターとして配置した中小企業支援機関等を「地域力連携拠点」として選定し、中小企業が直面する課題に対して、きめ細かな支援を行います。

コーディネーターは、他の中小企業支援機関等とのつながりを活かして、悩みを抱える中小企業や新しいことを始めたい中小企業等を積極的に見つけ出し、経営上の課題の正確・迅速な把握や課題解決に向けた戦略の立案を支援します。

さらに、地域力連携拠点においては、経営力の向上や新事業展開、事業承継等様々な課題に応じて、その具体的な解決をきめ細かにかつ徹底的に支援します。

地域の中小企業支援機関が強みを持ち寄り対応！

沖縄では、全事業者数の99%が中小企業であり、このうち約88%が小規模企業となっております。

ですが、最近の中小企業等を取り巻く状況は、消費者ニーズの多様化、原油・原材料の高騰によるコスト増等依然として大変厳しいものがあります。そのようなかで、自らの強みを見出し、かつ必要に応じて異分野企業等との連携を図り、製品やサービスの高付加価値化や差別化を実現していくとともに、社内マネジメントをしっかりと行うことが求められております。このように複雑化する経営課題に機動的に対応していくためには、既存の商工団体のみならず、都道府県の支援センター、大学等、

地域の中小企業支援に係る機関のそれぞれの強みを持ち寄り、事業者の視点に立ったコーディネーターができる拠点の整備が不可欠となっております。

どんなことをするの？

「経営力の向上」「創業・再チャレンジ」「事業承継」等様々な課題に応じて、その具体的な解決を支援するため、専門的な知識、能力及び経験を有する「応援コーディネーター」を、窓口相談や巡回相談を行ったり、金融機関、大学、農協等のパートナー機関とも連携しつつ、専門家の派遣、ビジネスマッチング等を行うほか、国や地方自治体の施策もフルに活用して、中小企業が中長期的に発展するための経営基盤の強化を図ります。

地域力連携拠点のお問い合わせ先



機 関 名	電話番号	ホームページ
☆沖縄県商工会連合会	098-859-6150	http://www.oki-shokoren.or.jp/
石垣市商工会	0980-82-2672	http://www.i-syokokai.or.jp/
名護市商工会	0980-52-4243	http://www.nago.or.jp/
宜野湾市商工会	098-879-0111	http://www.ginowan.or.jp/
☆那覇商工会議所	098-868-3710	http://www.nahacci.or.jp/
☆(財)沖縄県産業振興公社	098-859-6238	http://www.okinawa-ric.jp/
琉球銀行	098-860-1216	http://www.ryugin.co.jp/
沖縄銀行	098-867-2141	http://www.okinawa-bank.co.jp/
沖縄県農業協同組合	098-831-5163	http://www.ja-okinawa.or.jp/

☆は「事業承継支援センター」を併設。事業承継ニーズに対応したワンストップサービスを行う。

「地域力連携拠点」の5つの特徴

①きめの細かい支援！

地域力連携拠点における支援機関等の力を総動員したきめの細かい支援を行います。

②ワンストップサポート！

「悩む中小企業」の課題をワンストップでサポートします。

③ITの活用！

ITを積極的に活用することにより、経営診断を正確・迅速に行うことができます。

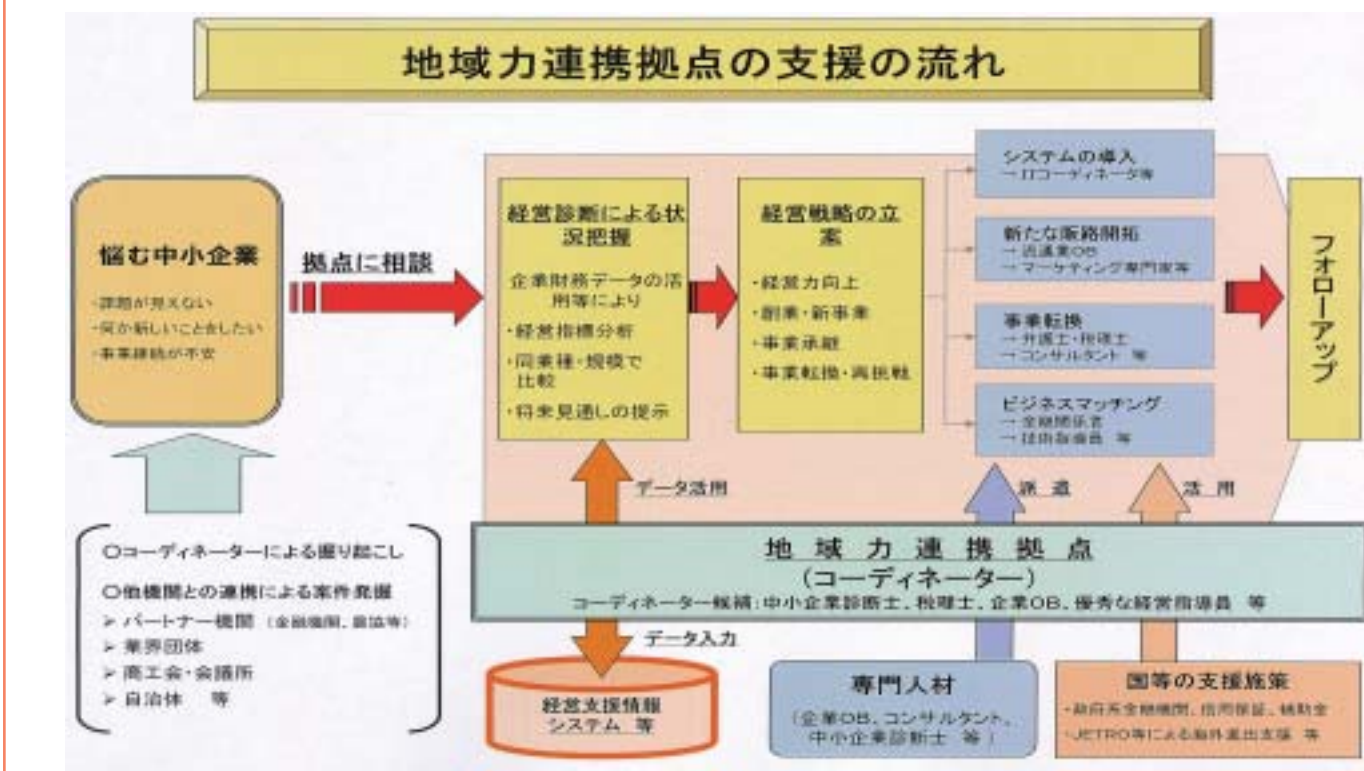
④専門家の派遣！

支援のプロフェッショナルのコーディネーターが、支援を求める中小企業と最適な専門家をピンポイントでつなげます。

⑤成長に至るまでの「貫いた支援」！

様々な支援策等を最大限活用して、成長に至るまでの一貫した支援を行います。具体的には、相談、専門家派遣、情報提供、調査研究、マッチング事業等を行い、小規模企業等の前向きな取り組みを支援します。

地域力連携拠点の支援の流れ（フローチャート）



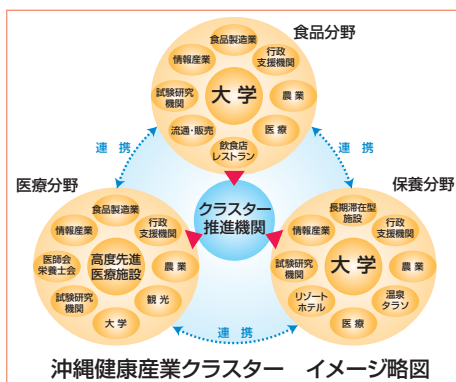
金融機関2行、JAおきなわを含む9拠点が事業を実施。各拠点とも独自の強みを活かした取組みを展開。

5月30日オープンセレモニーの様子。各拠点で関係者を集めた開所式が開催された。全国の316拠点が一斉に事業をスタート。



經濟部

健康を維持するには、栄養、運動、休養、健診等の組合せによる取組が必要です。そこで、食品・保養・医療を核とした「健康産業クラスター」の形成を目指して活動しています。



沖縄総合事務局では、平成14年にOKINAWA型産業振興プロジェクトをスタートさせ、健康関連産業における産学官の広域的なネットワーク形成に取り組んでおります。



(スパスイートルーム喜瀬別邸 HOTEL&SPA)

琉球エステ・スパ研究会の活動

沖縄は、年間580万人を超える観光客が訪れますが、最近では、南国特有のゆったりとした時間・空間が醸し出す「癒し」と心身のリフレッシュを求めて、エステティックやスパサービスを受ける方が増えており、今や沖縄のリゾートホテルには欠かせない施設となっています。

エステティックやスパはサービス産業ですが、例えば、トリートメントに月桃のアロマオイルを使い、ウエルカムドリンクにハイビスカスティーを提供し、インテリアに絢型をあしらひ、沖縄の癒しの音楽を聴かせる……といったように、実は多様な地場産業、ものづくり産業との連携が可能です。こうした沖縄らしいエステティック・スパが大産業へと発展することにより、他産業への大きな波及効果が期待できます。また、若年者雇用の場としても有効であり、さらにはマリネレジャーだけではなく、新たな観光資源としての可能性を秘めています。

そこで、温暖な気候や豊かな自然環境、独特の歴史や文化といった沖縄の特性を活かし、安心・安全で顧客満足度が高く、沖縄らしいエステティック及びスパのブランド化を目指そうと、



トリートメントのデモンストレーションの様子(第30回沖縄の産業まつり)

平成18年に「琉球エステ・スパ研究会」が発足しました。スパ先進地であるシンガポールでの調査事業、琉球エステ・スパガイドラインの作成、沖縄の産業まつりにおける「琉球ビューティ&リラクゼーション展」の開催等、様々な活動を実施してきました。

Point

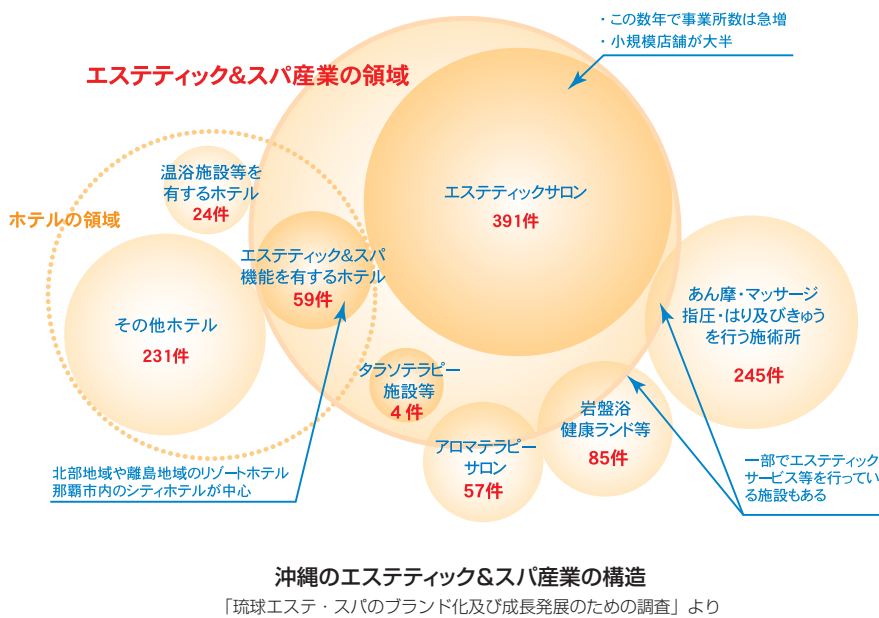
OKINAWA型産業振興プロジェクト
のブランド化を目指しています。

癒しの島で極上のリラクゼーションを

沖縄らしいエステティック・

市場規模は113億円

さて、経済産業部では、沖縄県内におけるエステティック＆スパ産業の実態把握と課題抽出を行い、ブランド化や成長発展に向けた方策を検討するため、平成19年度に「琉球エステ・スパのブランド化及び成長発展のための調査」を実施しました（委託先（株）海邦総研）。その結果、県内のエステティックサロンの件数は391件（08年）と、6年



一方で、施術者の労働環境が厳しく離職率が高いこと、小規模事業者が多く集客・経営ノウハウが不足していること、店舗によってサービスクオリティにばらつきがあること等、様々な課題が挙げられています。

沖縄県エステティック・スパ協同組合が設立

こうした課題は、個々の事業者だけで解決できるものではありません。

前に比べて4倍超に急増しており、また県内ホテル全体の約二割がエステティック&スパ施設を有していることがわかりました。また、観光客の利用率は、入域観光客数の4%（市場規模約29億円）、これに街中サロンを加えると、県内エステティック・スパ産業の市場規模は113億円という試算結果となりました。今後、同施設を有するホテルの建設計画が予定されているため、市場規模はさらに拡大し、地域経済への貢献は大きくなると分析しています。

りません。そこで、琉球エステ・スパ研究会の会員6名が発起人となり、6月4日に「沖縄県エステティック・スパ協同組合（新城恵子理事長）」が設立されました。同組合では、コミュニケーションや沖縄の歴史・文化等の研修事業や、施術者の資格格付け制度など、エステティック・スパ産業を支える人材を育成するために必要な事業に取り組むこととしています。また、沖縄らしいサービスを提供し、かつ一定基準を満たすサロンに対し認定マークを付与することで、お客様が安心してサービスを利用できる環境づくりに取り組もうと考えています。さらに、他が真似できない地域ブランドとしての確立を図るため、認定マークの地域団体商標登録を目指しています。

6月17日には沖縄総合事務局にて組合設立記念セミナーを開催し、新城理事長から「エステティック・スパの全国的な組織はいくつもあがるが、この組合は、沖縄のエステティック・スパをもっと良くするための組織。個々の事業者ではできないことでも、皆で協力することで大きな力を発揮することができる。」と、来場者に対し幅広く組合参加を呼びかけました。

OKINAWA型産業振興プロジェクトホームページ
<http://www.okinawa-cluster.jp/>

OKINAWA型産業振興プロジェクト推進ネットワーク事務局
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学地域共同研究センター3階（株式会社 沖縄TLO内）
TEL 098-895-8977/FAX 098-895-8957

沖縄県エステティック・スパ協同組合
〒901-2134 沖縄県浦添市港川2-22-1
TEL 098-963-5551/FAX 098-876-8955

さいごに

OKINAWA型産業振興プロジェクトは、平成20年度より会費制を導入し、ネットワークの自立化に向けて新たにスタートしました。そこで、琉球エステ・スパ研究会は「沖縄スパ産業研究会」に改称し、これまでのブランド化の取組に加え、沖縄のスパ産業発展のための方策検討など、幅広い議論を展開していくこととしております。

沖縄は、すぐ身近にエステティック・スパサービスを受けられる恵まれた環境にあります。最近では、男性が利用できる施設も増えてきました。仕事に家事にお疲れの皆様、極上のリラクゼーションを体験してみませんか？

運輸部

仕事の
窓

3



周知の様子

プレジャーボートの海難事故発生件数は、年間900件前後と依然として海難全体の3割を超える状況が続くとともに、死者・行方不明者を伴う海難についても全体の約3割をプレジャーボート関連が占めている状況です。また、近年、船舶安全法に基づく船舶検査を適切に受検

こうした状況を踏まえ、運輸部としては、海上保安庁等関係機関と連携を密にし、マリンドーンウィークから夏期休暇期間中にかけて、プレジャーボート等小型船舶に対して、船舶検査の受検、小型船舶操縦士免許に関する安全キャンペーンを実施しています。また、本年4月1日から施行された小型漁船に対する救命胴衣（ライフジャケット）着用義務範囲の拡大等

しない小型船舶が毎年3〜4万隻発生していることが明らかになっています。このような小型船舶を放置すると、船体、機関の整備不良の可能性も高まり海上の人命の安全に重大な支障を及ぼすことが懸念されます。

Point

プレジャーボート等を運航するには船舶の検査及び操縦免許が必要です。

プレジャーボート等小型船舶に対する安全キャンペーンを実施

についても併せて周知啓蒙活動を実施しています。

なお、従来から実施している小型船舶操縦士の遵守事項（①酒酔い等操縦禁止 ②遊泳者等付近での疾走等禁止 ③免許者の自己操縦 ④救命胴衣（ライフ

ジャケット）の着用 等）についての周知啓蒙を伴うパトロール活動の際にも、併せてこれらの事項の確認を行い、ソフト、ハードの両面から小型船舶の安全キャンペーンを実施することにより安全確保を推進しています。

ボートを安全に利用するために

船舶の定期検査・中間検査を受けましょう！

定期検査・中間検査を受けずに船舶を運航することは船舶安全法に違反します。

検査の種類と検査を受ける時期

検査の種類	検査を受ける時期
定期検査	毎年1月1日から3月31日まで
中間検査	毎年4月1日から6月30日まで
追加検査	毎年7月1日から9月30日まで

ボートの操縦には免許が必要です！

ボートの種類によって必要な免許の種類が異なります。

免許の種類と取得方法

免許の種類	取得方法
小型船舶操縦士免許	国土交通省の指定機関で講習を受講し、試験に合格すると取得できます。
遊泳者等付近での疾走等禁止	講習中に学習します。
救命胴衣（ライフジャケット）の着用	講習中に学習します。

遵守事項を守りましょう！

①酒酔い等操縦禁止 ②遊泳者等付近での疾走等禁止 ③免許者の自己操縦 ④救命胴衣（ライフジャケット）の着用

国土交通省 警察庁 海上保安庁

チラシ



周知の啓蒙対象船舶

農林水産部

仲西中学校の職場体験学習生を受け入れました

沖縄総合事務局農林水産部では、7月9日から11日までの3日間、浦添市立仲西中学校の2年生2名を受け入れ、職場体験学習を実施しました。

農林水産部の各課で行っている仕事を実際に体験することで、沖縄の農林水産業や農林水産物、沖縄総合事務局の仕事について関心をもってもらうことがねらいです。

期間中、

- スーパーの食品コーナーに出向き、食品表示調査を体験してもらい、食品表示の重要性について学習しました。

- お米の消費動向に関するアンケート調査結果の集計・分析の体験を通じて、我が国の主食であるお米の消費動向の

把握の必要性について学習しました。

- 食事バランスガイドを通じて健康的な食生活と食料自給率について考えました。

- J A おきなわ南部地区営農センターの協力の下、マンゴーの生産現場、ハー

ブの集出荷施設等の見学及び作業体験を通じ、沖縄の農産物の生産振興に関心を持ってもらいました。

このような取組を通じて、今後とも県内の小中高生に沖縄の農林水産業について関心を持っていただく機会を提供していきたいと考えています。



知花美穂さん



比嘉千夏さん

農林水産部

「第1回沖縄県マンゴーコンテスト」が開催される

去る7月20日、沖縄県中央卸売市場において、「中央卸売市場まつり2008」のイベントの一環として、「第1回沖縄県マンゴーコンテスト」が開催されました。

本コンテストは、マンゴーの生産技術や品質向上、生産意欲の高揚を図るとともに、消費拡大を促進することを目的に、沖縄県果樹フェスティバル実行委員会の主催で今年初めて開催されました。

当局からは、永杉農林水産部長が出席し、栄えある賞を受けた農家の皆さんや関係者に対し、祝辞を述べました。

本コンテストには、県内で生産されたマンゴー総数58点が出品され、平均糖度は14.3度、最高は16.4度とレベルが高く、会場を訪れた多くの方々に沖縄産マンゴーの良さを広くアピールすることができました。

主な受賞者は以下のとおりです。（敬称略）

【最優秀賞（沖縄県知事賞）】
来間孝勇（宮古島市）
【優秀賞（沖縄総合事務局農林水産部長賞）】
兼島弘美（宮古島市）
【優秀賞（J A おきなわ理事長賞）】
赤嶺智英（豊見城市）
【優秀賞（沖縄協同青果社長賞）】
玉城卓（今帰仁村）

今回のコンテストを契機に、生産農家の精力的な取組がますます図られるとともに品質の高い沖縄産マンゴーが広くPRされることで、沖縄ブランドの確立が期待されます。



受賞者のみなさん

開発建設部

平成19年度開発建設部所管 優良業者等表彰式を開催

去る7月18日(金)に「平成19年度開発建設部所管優良業者等表彰式」を開催しました。

本表彰は、平成19年度に完成したダム、道路、港湾、空港、公園及び官庁営繕の各部門における工事の1,000万円以上の契約件数279件の中から、また、測量、設計調査業務等については、500万円以上の契約件数244件の中から、特に優秀な成績を収められた施工業者並びに技術者を局長表彰したものです。

福井局長は、挨拶の中で「それぞれの分野においてご熱心に仕事をしていただき、困難性の克服や創意工夫を行うことにより、優秀な成績を収めていただきました。その業績は、他の模範となり、業界全体の技術力の向上に多大な貢献をされたものであり、そのご努力に対して心から敬意を表する次第であります。」と述べました。



【受賞された皆様】

- ・優良施工工事部門(6社)
- ・安全施工工事部門(2社)
- ・優良業務部門(4社)
- ・優秀工事技術者(5名)
- ・優秀業務技術者(2名)

開発建設部

平成20年度沖縄不発弾等対策協議会を開催

6月24日(火) 沖縄総合事務局1階A・A・B会議室において陸上自衛隊、海上自衛隊、沖縄県、県警察、第十一管区海上保安本部等関係者が一堂に会し、沖縄不発弾等対策協議会が開催されました。

当協議会は、沖縄における不発弾等の調査、探査、発掘、除去及び処分に関する情報の交換並びに対策を協議検討し、地域住民の生活の安全に資することを目的に設置されています。

今回の会議は、平成19年度の不発弾等処理実績報告と平成20年度の埋没不発弾等処理事業計画を審議しました。

県民からの情報提供によります埋没不発弾の探査発掘を始め、発見された不発弾の処理対策が安全かつ円滑に推進されることを確認しました。



開催状況

運輸部

平成20年『海の月間』について

祝日「海の日」は、海の恩恵に感謝し、海を大切にする心を育むために平成8年に制定されました。

この「海の日」の意義を広く理解していただくため、7月を「海の月間」とし、全国各地の都市において多彩な行事が展開され、管内においても、「那覇観光キャンペーンレディによる一日船長」、「みなとフェスタ」、「ビーチのクリーンアップキャンペーン」、「中学生海の絵画コンクール」等の行事が行われました。

大型客船の一日船長を務めた那覇観光キャンペーンレディの山城彩希さんは「船の旅は私達に夢とロマンを与えてくれます。今後とも安全航海に努めて頂き、明日を担うシーマンとして頑張ってください。」と、船員や関係者に向けてメッセージしました。

この他、「海事関係功労者表彰式典」を24日、那覇市内のホテルで開催し、海運、

港湾、海洋環境保全関係者等16名を表彰しました。

また、同式典において、「中学生海の絵画コンクール」受賞者への表彰式も行われ、沖縄総合事務局局長表彰・金賞受賞の吉田翔さんを始め、10名の中学生が表彰されました。



一日船長による船内巡視



一日船長ご挨拶



局長等と受賞者

運輸部

平成20年度 陸運関係功労者 陸運事務所長表彰を開催

6月16日（月）沖縄総合事務局陸運事務所において「平成20年度陸運関係功労者表彰」の表彰式を行いました。

本表彰式は、県内において自動車関係事業（バス・タクシー・トラック事業、販売事業、整備事業等）に従事する役員、従業員等で当該事業に対する功績が顕著であった者及び永年にわたり業務に精励し勤務成績が優秀な者に対し毎年行われております。今回の表彰は、事業役員10名、一般従業員12名、自動車運転者18名、自動車整備士等5名の計45名と自動車関係事業のうち使用済み自動車を適正に処理する等環境対策に積極的に取り組んだ優良事業場2社に対して授与されました。

田盛所長は、受賞者へのあいさつの中で「多年に亘り陸運関係事業に精励されるとともに、それぞれの分野で長年培ってきた豊富な知識と技能を発揮して安全で質の高いサービスを提供し、今後も業界のレベル

アップに期待したい」と激励し、表彰状を授与しました。

表彰後、受賞者を代表して事業役員で受賞した合資会社屋部産業の山本茂富代表は、「本日の受賞を機会に、尚一層研鑽を重ね業界の良き指導者として精進するとともに、社会の信頼に応えられるよう業務に精励し、事業の限り無い発展に尽力を尽くしていきたい」と抱負を述べました。



表彰状の授与



トラック事業関係受賞者



優良事業場受賞者

な・か・ゆ・く・い

農林水産部土地改良課

シリーズ 3.

昔も今もあなたの身近にある『^{そすい}疏水』



「疏水」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？疏水とは、農業用水や飲料水などを確保するために、自然に手を入れて作った水路のことです。沖縄では昔から様々な疏水が作られ、大切に守られてきました。現代でも、先人のれいに習い限りある水資源を有効に利用するため、上水道や農業用水などの疏水を作っています。

今回はそのような中から、昔からある疏水と、農林水産省の「疏水百選」に誕生された、「宮古用水」について紹介します。日差しが照りつける休日には是非、あなたの地域の疏水に出かけ、涼しい風を体感してみてはいかがでしょうか？



受水と走水という2つの泉から湧き出る水を利用して、昔は稲作が行われていたと言われています。穏やかな流れの受水と速やかに流れる走水の下の水田は、沖縄本島稲作発祥の地として伝えられています。

① 受水走水

うきんじゅ はいんじゅ

(南城市)



昭和60年に環境庁(現環境省)の全国名水百選に選ばれた井泉です。昔は樋川から流れる水を利用して、下流域で稲作が行われていました。現在でも農業用水として利用されており、また日本最南端の名水百選としても知られています。

② 垣花樋川

かきのはなひーじゃー

(南城市)



金武町並里部落に位置する井泉で、大正の頃は用途別にコンクリートで仕切りを造り、飲料水や洗濯、芋洗場として利用されていました。豊富な水量は干ばつ時にも枯れることがなく、今でも稲や田芋栽培の農業用水として利用されています。

③ 金武大川

うつかがー

(金武町)



④ 野城泉 (宮古島市)

野城遺跡の南西部にある野城泉は、石灰岩台地の裾野に位置する湧水で、湧水口の周辺は切り石積み技法によって築造されています。野城遺跡は約13～14世紀頃の遺跡として知られていますが、野城泉の湧泉に切り石積みが施された年代はよくわかっていません。野城泉の水量は豊富で、今も付近の人々に利用されています。また、近年は畑地かんがい用水等としても広く活用されています。



⑤ 宮古用水 (宮古島市)

宮古島は、地表付近の地層が水を通しやすい石灰岩で覆われ、雨が降るとそのほとんどは蒸発するか地下に浸透してしまします。そのため雨が少ない時には、農作物に干ばつの被害が発生します。このような干ばつ被害の軽減を図るために、昭和62年度から平成12年度にかけて国内で初となる大規模な農業用水源開発を目的とした地下ダムが築造され、用水路等と併せて宮古島の畑地かんがい施設が整備されました。こ



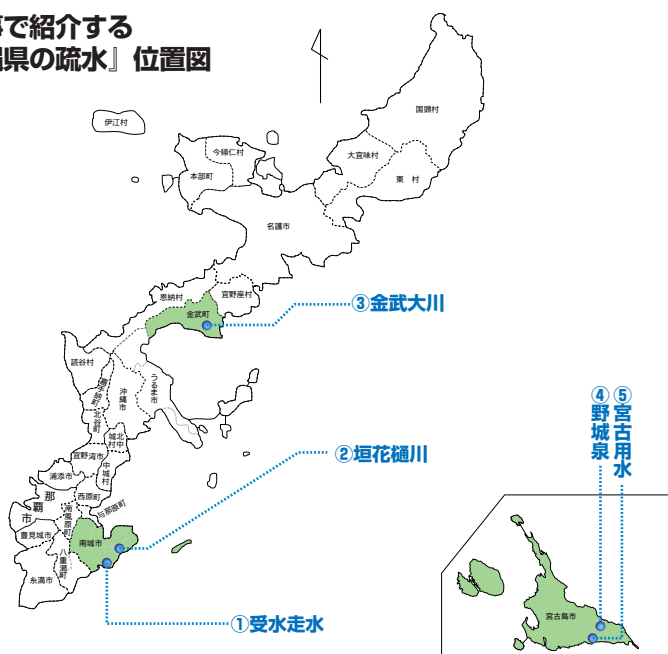
れらは平成18年、農林水産省の疏水百選に認定されました。(写真の建造物は福里地下ダムの水位観測施設です)

おわりに

今回紹介した、沖縄に昔からある疏水はいずれも、泉から水を引き、稲作など農業と深い関わりを持ちながら、先人達が長い間大切に維持・管

理してきた施設だとわかります。それらは、飲料水や生活用水の施設として人々の生活に密着し、また美しい景観を作ってきました。農林水産部の主催している「田んぼの生きもの調査」によって、これらの疏水に、魚やカエル、水生昆虫など、多種多様な生きものが住んでいることがわかっています。この機会に、あなたの地域の風景の中に溶け込んでいる疏水に、目を向けてみませんか？

本記事で紹介する『沖縄県の疏水』位置図



(表1) 議題

議題1	地球規模課題の解決に向けた国際協力による取組み (低炭素社会の実現に向けた研究開発) エネルギー関連技術を中心に、バイオ燃料等を例に、研究開発のあり方や社会経済上の影響についての議論。
議題2	アフリカ等の開発途上国との科学技術協力 開発途上国のニーズを踏まえた人材開発の推進、水、食料、エネルギーの持続可能な供給、感染症対策、生物多様性等の分野における途上国との科学技術協力のあり方についての議論。
議題3	研究開発のリソースに関する協力 (大規模研究施設、人材の国際流動化) 研究開発リソースの国際共用を促進するため、各国の大規模研究施設の相互利用や情報交換を促進するための方策等についての議論。

(表2) 参加者

G8+EU	日本	岸田文雄 内閣府特命担当大臣 (科学技術政策担当)
	カナダ	リチャード・ディサーニ 産業省次官
	フランス	ヴァレリー・ベクレス 高等教育・研究大臣
	ドイツ	フリーダー・マイヤー＝クラマー 教育研究省次官
	イタリア	ジュゼッペ・ピッツァ 教育・大学研究省次官
	ロシア	アンドレイ・フルセンコ 教育科学大臣
	英国	イアン・ピアソン 科学・イノベーション担当國務大臣
	アメリカ	レイモンド・オーバック エネルギー省次官
	EU	ヤネス・ポトチュニック 科学・研究担当委員
	ブラジル	アウグスト・セザル・ガデーリャ・ヴィエイラ 科学技術省次官
招 聘 国	中国	万鋼 (ワン・ガン) 科学技術部長
	インド	ディルマラチャリ・ラマサミ 科学技術省次官
	メキシコ	ファン・カルロス・ロメロ・ヒックス 国家科学技術審議会長官
	フィリピン	エストリラ・アラバストロ 科学技術庁長官
	韓国	李相睦 (リ・サンモク) 教育科学技術部科学技術政策室長
	南アフリカ	モシブディ・マンゲナ 科学技術大臣

G8科学技術大臣会合を開催

(<http://www8.cao.go.jp/cstp/g8.html>)

北海道洞爺湖サミットに先立ち、平成20年6月15日、沖縄県名護市にある万国津梁館において、初のG8科学技術大臣会合が開催されました。G8及び招へい国の計15カ国及びEUの科学技術担当大臣等が一堂に会し、「地球規模の課題解決に向けた国際協力による取組み(低炭素社会の実現に向けた研究開発)」「アフリカ等の開発途上国との科学技術協力」「研究開発リソースにおける協力」について議論しました。議長国の日本から、今後の

題に関する各国の政策やプログラムの情報を取りまとめることを提案し、来年のサミット議長国であるイタリアが第2回会合の開催を表明し、歓迎されました。

サミット関連会合として科学技術大臣会合が開催されるのは今回が初めてのことでしたが、環境エネルギー技術などを議論するのに自然豊かな沖縄を開催地に選んだ意義は大きく、なごやかなムードで率直な議論が行えたことに参加各国から満足の声が上がりました。



万国津梁館でのセッションの様子



沖縄の海を背景に記念撮影



記念撮影の様子



議長を務めた岸田大臣による記者会見

沖縄総合事務局



沖繩総合事務局次長に **森田 悦三氏**が就任 静岡県出身51歳

木下誠也 前沖縄総合事務局次長の転任に伴い、平成20年7月11日付けで沖縄総合事務局次長に森田悦三氏が就任した。

昭和53年京都大学工学部卒業、昭和55年京都大学大学院工学研究科交通土木工学専攻修了。昭和54年国家公務員採用上級甲種（土木）試験合格。昭和55年建設省入省、平成7年建設省都市局都市総務課建設専門官、平成10年建設省近畿地方建設局大阪国道工事事務所長、平成13年国土交通省政策統括官付政策調整官付政策企画官、平成15年会計検査院事務総長官房技術参事官、平成18年京都府土木建築部長、平成20年国土交通省大臣官房付を歴任後現在に至る。



総務部長に **三浦 健太郎氏**が就任 東京都出身41歳

久保田治 前総務部長の転任に伴い、平成20年7月16日付けで総務部長に三浦健太郎氏が就任した。

平成元年一橋大学商学部卒業。昭和63年国家公務員採用I種（経済）試験合格。平成元年総理府入府、平成16年経済産業省製造産業局デザイン・人間生活システム政策室長、平成18年内閣府大臣官房参事官（総務課担当及び政策評価広報課担当）、平成19年内閣府賞勲局審査官、平成20年内閣府大臣官房付を歴任後現在に至る。

人事異動のお知らせ

内閣府本府沖縄担当部局



内閣府審議官に **柴田 雅人氏**が就任 東京都出身59歳

東良信 前内閣府審議官の転任に伴い、平成20年7月1日付けで内閣府審議官に柴田雅人氏が就任した。

昭和49年一橋大学法学部卒業。昭和48年国家公務員採用上級甲種（法律）試験合格。昭和49年厚生省入省。平成3年内閣官房内閣参事官、平成5年厚生省児童家庭局母子福祉課長、平成6年厚生省児童家庭局保育課長、平成7年厚生省社会・援護局施設人材課長、平成8年厚生省保険局国民健康保険課長、平成10年厚生省保険局企画課長、平成13年内閣官房内閣審議官（内閣総務官室）、平成15年内閣官房内閣総務官室内閣総務官、平成18年内閣府政策統括官（共生社会政策担当）を歴任後現在に至る。



大臣官房審議官（沖縄政策担当兼新大学
院大学企画推進室担当）に **槌谷 裕司氏**が就任 北海道出身49歳

小河俊夫 前大臣官房審議官の転任に伴い、平成20年7月1日付けで大臣官房審議官に槌谷裕司氏が就任した。

昭和56年中央大学法学部卒業。昭和55年国家公務員採用上級（行政）試験甲種合格。昭和56年総理府入府、平成15年総務省人事・恩給局参事官、平成17年総務省人事・恩給局公務員高齢対策課長、同年内閣官房内閣参事官（内閣広報室）、平成19年内閣府政策統括官（沖縄政策担当）付参事官（総括担当）を歴任後現在に至る。

電子化で、安全・便利な 株式管理。

株券電子化により、株式の管理や取引が
より効率的かつ安全になります。

- ➡ 株券を手元で保管することによる
盗難・紛失がなくなります。
- ➡ 株券の受渡しや株券取得の都度の
名義書換も不要になります。
- ➡ 偽造株券を取得することがなくな
ります。



上場会社の
「株券電子化」**2009年**（平成21年）**1月**実施で準備中

*正式には、政令により実施日が決定されますが、経済界・金融界としては、「2009年（平成21年）1月」を実施目標として準備を進めています。



注意！

お手元の株券がご本人名義でない場合、**株主の権利が失われる可能性もあります。**
必ず名義書換を行ってください！

株券が電子化されると、上場会社の株券は無効となり、株主の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されます。このとき、株券の名義がご本人以外の名義になっている場合、株主としての権利（株式価値・配当金の受け取りなど）を失う場合があります。

金融庁 法務省 日本銀行

日本経済団体連合会 全国株主連合会 全国銀行協会 信託協会 日本証券業協会 証券保管振替機構
東京証券取引所 大阪証券取引所 名古屋証券取引所 福岡証券取引所 札幌証券取引所 ジャスダック証券取引所

お問い合わせ先
および権利は

お近くの証券会社 または、
日本証券業協会 証券決済制度改革推進センター
（証券受渡・決済制度改革懇話会事務局）*

TEL 03-3667-4500（平日9:00～17:00）
URL <http://www.kessaicenter.com/>

*証券会社、お取引の証券決済制度改革の早期実施等を
推進するため、1999年（平成11年）7月、業界協会の3割
株主がメンバーとなって設置されたコンシリアン機関です。

沖縄総合事務局

<http://www.ogb.go.jp/>

広報誌【群星】に対する「皆様の声」をお待ちしています。